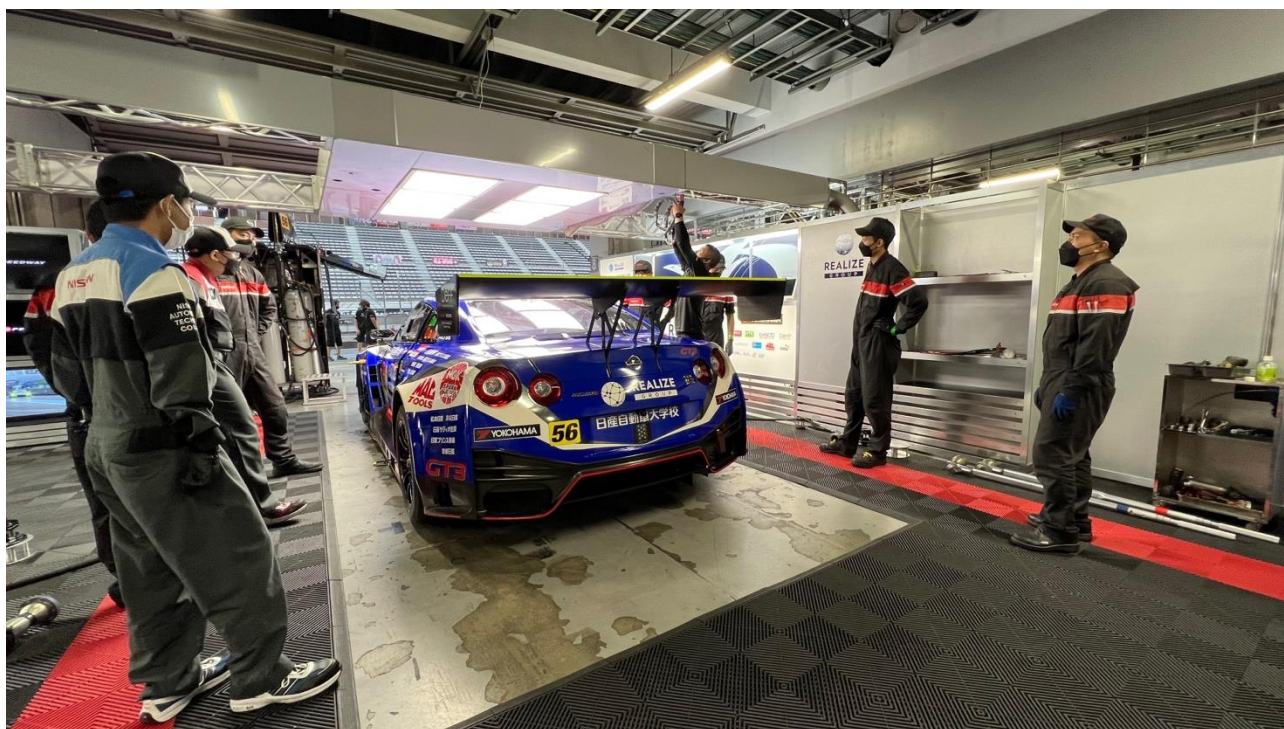


2022 AUTOBACS SUPER GT Round4

FUJIMAKI GROUP FUJI GT 100Lap RACE

2022年8月6日予選 8月7日決勝



この活動は下記のパートナー企業様にささえられています

NISSAN REALIZE GROUP YOKOHAMA PITWORKS UD TRUCKS Logisnext 日産車体 株式会社ゼロ 日産モータースポーツ&カスタマイズ
 ALTA ROCK PAINT PREMIERAssist 5YEARS COAT Premium TOPPAN NGK NTK MAL TOOLS DëFF KMMOTO LS LS KSB
 SUNTORY pepsi puma 日産東京 日産プリンス栃木 日産プリンス埼玉 埼玉日産 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産
 日産プリンス三重 愛知日産 日産プリンス名古屋 日産大阪 兵庫日産 愛媛日産 日産プリンス福岡 日産プリンス秋田 長野日産 松本日産
 千葉日産 日産プリンス千葉 日産自動車販売 浜松日産 京都日産 日産サテリオ佐賀 日産プリンス長崎 青森日産 日産サテリオ弘前 岩手日産
 日産プリンス岩手 日産プリンス宮城 栃木日産 新潟日産 甲斐日産 日産サテリオ千葉 日産サテリオ湖南 石川日産 福井日産 日産プリンス静岡
 三重日産 和歌山日産 岡山日産 日産プリンス広島 日産プリンス山口 福岡日産 日産プリンス大分 宮崎日産 鹿児島日産 *K&D*

1.【8月6日（土）予選】

リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R はシリーズランキング1位で、99キロのサクセスウェイトを積んでおり、厳しい予選と予想されていました。



ですが予選 Q1 を担当した、オリベ이라選手が 1'37.164 の好タイムを叩き出し、8 番手となり Q1 を突破しました。他のマシンのアタックが終わり Q2 への進出が確定すると、近藤監督、藤波選手は安堵の表情、ピットは拍手に包まれました。



続く予選 Q2 では藤波選手のアタックで 1'36.809 のタイムで 10 番手となり、翌日の決勝を迎えることとなりました。

8月6日 予選結果

Pos.	No.	Machine	Q1	Q2
1	65	LEON PYRAMID AMG	1'36.746	1'35.550
2	61	SUBARU BRZ R&D SPORT	1'36.834	1'35.567
3	4	グッドスマイル 初音ミク AMG	1'36.299	1'36.181
-	-	-	-	-
10	56	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R	1'37.164	1'36.809

2.【8月7日（日）決勝】

100 ラップの長丁場のレース、スタートドライバーは藤波選手です。

レーススタート前に雨が降るといふ波乱の展開。コース内には濡れた場所が残っている中での、決勝スタートとなりました。

その影響でスタート直後から、スピンなど様々なアクシデントがありましたが、藤波選手がドライブするリアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R は順調に周回を重ねていきます。



ところが27周目、タイヤトラブルを抱えてピットイン。当初ドライバー交代を行う予定でしたが、1名のドライバーがレース距離の3分の2を超えて運転してはならないことがレギュレーションで定められているため、このタイミングでは交代できず、タイヤ交換と給油をして藤波選手のままピットアウトしました。



その後は上位陣にトラブルが発生するも、藤波選手は着実に順位を上げていき、59周目でピットイン。オリベイラ選手に交代します。

オリベイラ選手も熱い走りで順位を上げていき、ファイナルラップの最終コーナーで1台をかわし、6位でフィニッシュしました。

8月7日 決勝結果

Pos.	No.	Machine	Best Lap	Time/Gap
1	61	SUBARU BRZ R&D SPORT	1'38.784	2:35'41.213
2	11	GAINER TANAX GT-R	1'38.945	5.959
3	18	UPGARAGE NSX GT3	1'39.023	17.520
-	-	-	-	-
6	56	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R	1'39.225	1Lap

GT300 クラス ドライバーズランキング

今回のレースで6位となったため、5ポイントを積み上げ合計38ポイント。
シリーズランキングは2位と8.5ポイント差をつけて、1位をキープすることとなりました。

次戦は8月27.28日に鈴鹿で行われる第5戦です。最多100キロのサクセスウェイトを積み重ねなければならず、次戦も厳しい展開が予想されますが、粘り強い走りを期待しています。

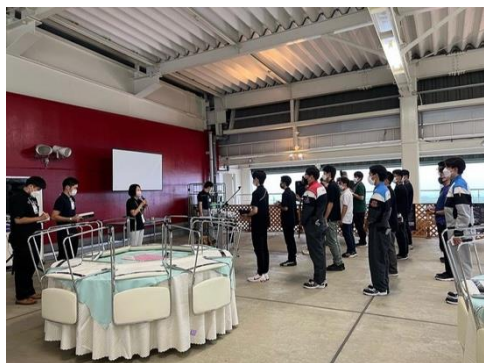
ドライバーズランキング(第4戦終了時点)

Pos.	No.	Machine	Total	Behind	SW
1	56	藤波 清斗 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	38	-	114
2	61	井口 卓人 山内 英輝	29.5	-8.5	89
3	18	小林 崇志 太田 格之進	26	-12	78

チームランキング(第4戦終了時点)

Pos.	No.	Machine	Total	Behind	SW
1	56	KONDO RACING	48.5	-	114
2	61	R&D SPORT	38	-10.5	89
3	18	TEAM UPGARAGE	33.5	-15	78

ホスピタリティエリアでの活動



今回は横浜校のみの参加でした。

仕事内容は、前日からの接客用のエリア設営を行うこと。

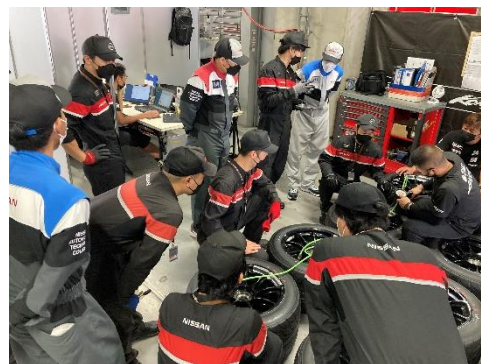
スポンサーの皆様への接客、主に案内やドリンクやお弁当のサービスなどを行います。

リーダーを中心としてお客様に何を求められているかを考えながら行動をし、この活動を支えていただいているスポンサーの方々に感謝をしながら接客をさせていただきました。初めて顔を合わせた学生たちもそれぞれコミュニケーションを取りながらお客様たちと一緒にスーパーGTを盛り上げました。



ピットエリアでの活動

ピットエリアでの活動紹介 ピットエリアでは、テクニカルとピットマネージャーの2つに分かれて、活動させていただきました。テクニカルの活動内容は、TSの方と一緒にタイヤやアライメント等のメンテナンスのサポート、ピット撤収等のサポートなどです。ピットマネージャーの活動内容は、ドライバーの装備の準備片付け、ドライバーにドリンクやタオルの用意や手渡しなどです。普段の学校生活とは違い、慣れない環境での活動となりました。当初は緊張や遠慮もありましたが、自ら動かなければ仕事を貰えないと気付き、日を追うごとにチームの方やTSの方へコミュニケーションをとることができました。今回の経験から、今後は学校生活の中で授業や行事など、リーダーなど積極的に盛り上げ取り組んでいきます。



横浜校学生より

学生総リーダー 一級自動車工学科 三年 安藤貞利

私は総リーダーを務めて「指示の出し方、判断力」を学び「チーム全体の成長」を感じました。今回で4回目の参加で、過去の経験から学んだことを活かし「チームメイトと活動を最大限に楽しむ」をモットーに活動を行いました。

私は全体を見渡すこと、またチームメイトの何をしているのか、何に困っているのかをしっかりと見て行動をし、大きなトラブルなくご来場された方を迎え入れることが出来き、帰りには「楽しかった。ありがとう。」と沢山声をかけて頂きました。

今回リーダーとして様々な経験を得ました。この経験を将来に活かし就職後も自ら進んで行動し就職先で活躍していきたいと思えます。

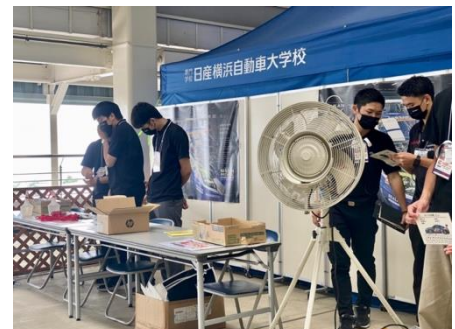
学生副リーダー 一級自動車工学科 二年 松島優雅

今回私が副リーダーをやってみて、初めは自分の指示の出し方が悪い時があり、他の学生たちと良い連携をとることが出来ず副リーダーとしてこの活動をまとめることができるか不安でした。1日目の反省を自分なりに考え他の学生たちにそれを発信していくことが出来たと思えます。そして二日目からは副リーダーとしての責務を全うし、周りを見ながら他の班と協力をして指示を出すことが出来たと思えます。また初めて会う一年生、お客様方とコミュニケーションをとり親睦を深められたと思えます。今回学んだことを元にこれからの学校生活、そして就職後に活かしていきたいと思えます。

学生スタッフより

・普段接することのない方たちとお話ができたり、パドックやピットの見学ができたりしてとてもたのしかったです。自分達で考えて動かなければならないことが多く、頭の中が一杯一杯になってすぐに行動をすることが出来ませんでした。

・先輩後輩の壁を越えて学年問わず活動ができたと思えます。普段テレビやネットなど画面越しでしか見ることがないドライバーやスタッフの皆さんと会い、お話を聞いたことがよかったです。今後の活動に向けて今回の周りが見えていなかったのももう少し周りに気を配り改善していけたらと思えます。





・今回の活動で学校の対応の授業で学んできたこと活かすことが出来たと思います。しかし初日は自分のことでせいいっぱいで後輩に見本を見せて教えることができず先輩に注意されることも多かったです。しかし自分なりに考えて、活動をしていく中でどんどん改善をしていくことが出来たと思います。またこの活動をどうして縦とのつながりが増えてよかったですと思いました。

・普段あまり出来ないお客様対応の実践をすることが出来ました。前回やった時の改善点を踏まえて今回の活動に対し新たな考え行動に移すことが出来たと思います。しかし、まだまだ改善するところが多くあり例えばメンバー同士との連絡が出来ていないことがあったりなどの課題があったので次もしやることがあったら今回の活動を活かし、より良い行動ができる様に心がけたいです。

・初めてだったということもあり、緊張してお客様に対してもうまく接することが出来ませんでした。自分達一年生がやるべきことができず、先輩たちの仕事を増やしてしまいました。しかし、入学して初めて多学年の人たちと仕事ができ、先輩たちの働きぶりを見て自分にインプットできることが多くあったので今後の生活に活かしていきたいです。



今回の活動で

今回の活動ではコロナ禍で行けなかったパドック裏・グリッドウォーク・ピットウォークまでいけることが出来ました。一般入場ではあまり入ることが難しい場所だけに、今回スタッフとして参加した学生たちも目を輝かせていました。

パドック裏では、画面越しではわからないレースを「している時」「してない時」のチームの方々を見させて頂いて、ON・OFFの差や切り替えの速さに驚き、メリハリの大事さを感じました。また聞こえるマシンの轟音を間近で感じる事が出来ました。



グリッドウォーク・ピットウォークでは、レースの主役のドライバーやレースを彩るレースクイーンたちによるファンサービスがあり、それと並行して監督やメカニックの方達が話し合いながらレース前の最終確認を行っていました。

また KONDO RACING 様のご好意により、普段だと絶対に見ることが出来ないピットの中や機材を運んだり選手やスタッフが休憩をしたりするトランスポーターの内部を見せてもらうことができ、大変貴重な経験になりました。

最後に

今回の NISSAN MECHANIC CHALLENGE を通じて、我々学生は様々なことに挑戦し自分の糧とすることができました。

また、マシンに貼られているスポンサーステッカーの数を見て、我々は非常に多くの方々を支えられていると実感しました。

我々の活動を支援いただいた、スポンサー様、

KONDO Racing Team 様、日産自動車様、この活動を応援していただいたファンの皆様に感謝申し上げます。

今回参加した学生が、学校生活で中心となって積極的に取り組み行動し、将来社会に出ても活躍出来るように日々努力して参ります。



今後とも応援よろしくお願い致します。本当にありがとうございました。

レポート作成担当

日産横浜自動車大学校

一級自動車工学科 3年 佐藤 大康 (ホスピタリティ)

一級自動車工学科 3年 村松 優樹 (ピットマネージャー)